公益社団法人日本キャンプ協会
設立５５周年記念キャンプ大会
【ビジョン2020事例報告】

題名：一般社団法人茨城県キャンプ協会「CAMPING PLUS」について

～ 地方からキャンプの魅力を発信する～

２０２１年9月１８日（土）１４：３０～１５：００

関東ブロック　園部 高生

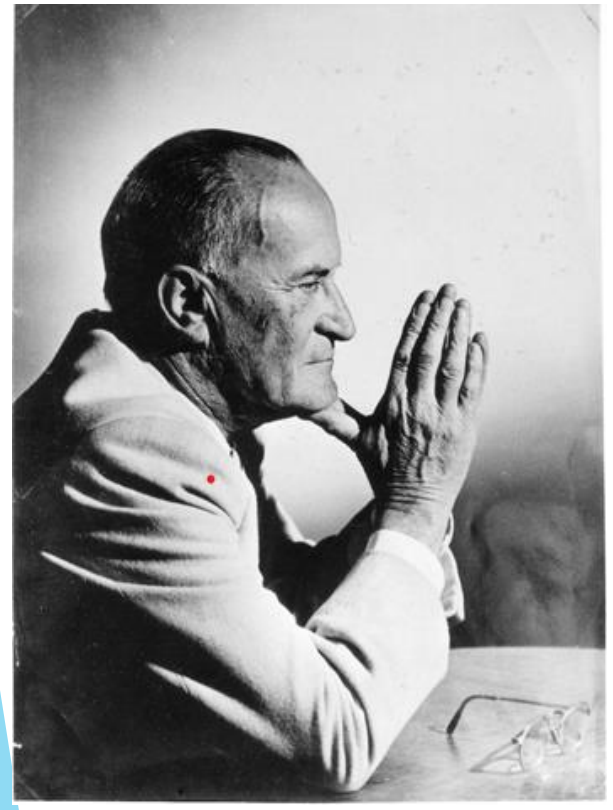
一般社団法人茨城県キャンプ協会

- １９９８年「茨城県キャンプ協会」発足リリー保育福祉専門学校内
- ２０００年アメリカカリフォルニア州にてキャンプ研修会開催
- ２００８年設立１０周年を記念し、茨城県立里美野外活動センター指定管理者入札（４団体）参加
- ２００９年茨城県立里美野外活動センターの管理運営スタート
- ２０１８年設立２０周年記念式典開催（水戸市内ホテルにて）
- ２０２１年法人化へ「一般社団法人茨城県キャンプ協会」発足
- 里美野外活動センターの動画をご覧ください。

２０２０年４月～コロナ禍により

- 運営の柱である里美野外活動センターの経営危機を迎える。
- 団体客９割キャンセルに加え、インストラクター退会者が増加した。

近代建築の父：アントニン・レーモンドが設計した里美野外活動センターをPR



【レーモンド設計事務所提供】

１９７２年竣工茨城県立里美野外活動センター

パブリシティ（効果として期待されるメディア）

▶テレビ

①全国ゴールデンタイムでの影響力大。

②全国視聴率１０％の番組１５秒でも数十万人が視聴。

③ローカル局の場合でも数万人が視聴。

▶新聞

①全国５紙(朝日・読売・毎日・産経・日経)数万人に訴求される。

②地方紙１０～２０万部(茨城：１２万２千部) 数千人に訴求される。

「戦略的パブリシティ」・記者クラブ聞き取りから引用

NHK水戸放送

明利酒類株式会社

沿革　江戸時代末期創業

昭和２５年法人化へ

インターナショナルワインチャレンジにて
副将軍 大吟醸がゴールドメダルを受賞!

IWCとはイギリス・ロンドンで
おこなわれるワインコンクール。
日本酒部門もあり、
日本酒の大会としても
世界有数の規模です。

2020年大会は
総出品銘柄数1,401
うち金賞受賞酒は88銘柄!
大吟醸部門は
総出品銘柄171銘柄
うち金賞受賞酒は14銘柄!
そのうちの1つが当社の副将軍!

世界の大会で認めて頂きました!

来週には金賞の中から選ばれる
トロフィー発表があります!
目指せトロフィー!

NHK出演からのパブリシティ効果

- 茨城県キャンプ認知度、信頼度、信用度があがる。
- 社会的ポジション（外部評価）があがる。

（その他の効果）

- 相手から仕事の相談を受けることが多くなった。
- 県の観光協会等からも広報の申し出が来た。
- さらにマスコミからの問い合わせが増えた。

- 記事の効果もあり人材が集まる。
- スタッフのモチベーションがあがる。
- 会員が協会を誇りに思う。

相談内容：キャンプ用お酒の開発について

- NHKの放送を見て、県立里美野外活動センターの運営に協力したいと思った。
- 番組ではソロキャンプが流行と知った。
- 茨城県はキャンプ場数が日本一である。
- お酒でキャンプに貢献したい。

茨城県の
キャンプ場を
応援したい！

CAMPING PLUS 300ml

茨城県民の日
11月13日発売

売上金の一部を
茨城キャンプ協会へ
寄付いたします。

2020. 10. 15

茨城県キャンプ協会公認

キャンプ用のお酒「CAMPING PLUS」

商品発売のお知らせ

明利酒類㈱×茨城県キャンプ協会コラボ商品

2020 年 11 月 13 日（金）茨城県民の日

明利酒類㈱（本社 水戸市元吉田町、代表取締役社長 加藤高蔵）は、このたび、茨城県キャンプ協会（水戸市梅香、会長 園部高生）とのコラボレーション商品、キャンプ用のお酒「CAMPING PLUS」を茨城県民の日１１月１３日から発売する運びとなりましたのでお知らせいたします。

キャンプの普及と発展に寄与したいという想いから、コラボ商品を作ることになりました。なお、本件に関する売り上げの一部は、茨城県キャンプ協会に寄付されます。

キャンプに関わる全ての皆様へキャンプ中のルールを守り、アウトドアライフをお楽しみください。

■茨城県が全国のキャンパーに向けキャンプ誘客を行っています。

茨城県は全国一位のキャンプ場数１６３カ所　２０１８年現在

茨城県公式キャンプサイト「いばらきキャンプ」の URL は
(https://ibaraki-camp.jp/)

■明利酒類㈱　オフィシャルサイト (http://www.meirishurui.com)

※明利酒類㈱ニュースリリース、コラボ商品情報を茨城県キャンプ協会サイトに掲載しております。是非、ご覧ください。

転載禁止

新　聞　〔第３種郵便物認可〕

キャンプブーム後押し

秋冬にたき火、星空を見ながらゆったり

適したフィールド整う

新型コロナウイルスの感染拡大対策で3密が避けられるレジャーとして、キャンプに注目が集まっている。県は9月、県内のキャンプ場を紹介する情報サイトを開設。水戸市の酒蔵もキャンプ利用者向けの地酒を販売開始するなど、官民ともにブームを後押ししたい考えだ。

夕焼けと湖畔の静けさを楽しめる茨城町上石崎の親沢公園キャンプ場＝県提供

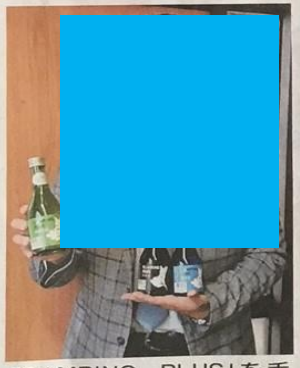
キャンプ場紹介サイト／専用地酒を販売

「9、10月の利用者数が例年を上回っている」「コロナ禍でも例年の売り上げをキープしている」。一部のキャンプ場から県に寄せられた声だ。スポーツ庁の2018年度の調査によると、県内のキャンプ場数は全国最多の163カ所にのぼる。県によると、茨城は都心から近く、四季を感じられる山▽波音や海産物を楽しめる海▽釣りや沢下りができる川辺▽静寂につつまれる湖畔――などキャンプに適したフィールドが整っているとしている。

コロナ禍の外出自粛で県内の観光業が大打撃を受けたことを機に、県は新たな観光振興策としてキャンプの魅力を発信。9月には県内のキャンプ場を紹介するインターネットサイト「いばらきキャンプ」を開設した。

周辺地域での購買促進もカギとなる。特に大洗町など海辺のキャンプ場では、地元の海産物を持ち込んで調理することも人気だ。県観光物産課の小松崎凌平主事は「周辺経済を回せるようなキャンプ飯や地酒の紹介にも力を入れていきたい」と意気込む。

10月～2021年1月には、茨城県でキャンプをしたことがない首都圏在住者向けに、県内各地でモニターイベントも実施する。小松崎主事は「キャンプは夏というイメージがあるが、秋冬にたき火や星空を見ながらゆっくりと過ごすのもおすすめ」と魅力を語った。



「CAMPING PLUS」を手にする明利酒類の加藤木敦さん＝水戸市元吉田町で

明利酒類（水戸市元吉田町）はキャンプ用の地酒「CAMPING PLUS」（キャンピングプラス）の販売を始めた。特徴は「ほろよいサイズ」。300ミリリットル入りで、1人で旅するソロキャンプでも飲みきれるようにした。同社の加藤木敦さん(43)は「たき火で日本酒を熱かんにして飲むのもおすすめ。現地の食材と一緒にお酒の味を楽しんでほしい」と話す。

種類は酸味を抑えた華やかな香りの純米吟醸▽県産サツマイモを使った芋焼酎▽癖がなく飲みやすい麦焼酎――の3種類で、税込み605円。売り上げの一部は、県キャンプ協会に寄付され、キャンプ場の整備や新型コロナウイルス対策に充てられる。

新聞

朝刊・夕刊　LIVE　Myニュース　E

トップ　速報　オピニオン　経済　政治　ビジネス　金融　マーケット　マネーのまなび　テック　国際　スポーツ　社会・調査

ソロキャンプで茨城のお酒を　明利酒類が3種類発売

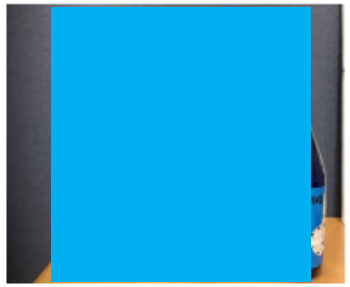
茨城　＋フォローする

2020年11月24日 19:13

保存

明利酒類（水戸市）はキャンプ用のお酒「CAMPING PLUS（キャンピングプラス）」を発売した。茨城県がキャンプ場への誘客を進めていることを受け、県キャンプ協会と組んで開発した。1人で参加するソロキャンパーがほろ酔い気分で楽しめるよう300ミリリットルサイズとした。

写真転載禁止



300ミリリットル入りの純米吟醸酒、芋焼酎、麦焼酎をそろえた

県産の原料を一部使った純米吟醸酒、県産サツマイモを使った芋焼酎と、麦焼酎の3種類をそろえた。希望小売価格は各550円（税別）。売り上げの一部は同協会に寄付し、キャンプ場の整備などに充てる。

県が海や川、山の自然に恵まれた環境を生かし「3密」を避けつつ通年で楽しめるキャンプを推進していることに対応した。同社によると「道の駅などから問い合わせが来ている」という。

◎メディア露出

- 茨城新聞
- 水戸経済新聞
- ネットニュース７社

◎その他

- 茨城県観光物産課HP
- 日本キャンプ協会HP
- 明利酒類株式会社HP

他

①道の駅：道の駅かつら（写真右上）

②キャンプ場：城里町総合野外活動
センターふれあいの里
（写真右下）

③明利酒類株式会社・他ネット販売

CAMPING PLUSの目的

①ソロキャンパー向けのお酒として開発
（キャンプでコミュニケーション）
②茨城県は「キャンプ場数日本一」
「関東酒蔵数一位」をPR
③茨城県立里美野外活動センター維持管理
のための寄付

茨城県キャンプ協会からの★CAMPING 読者プレゼント★

CAMPING PLUS（お酒１本）引き換え書

私は,２０２１年5月１日から茨城県立里美野外活動センターを利用しました。
（2021 年１１月３０日まで有効）

茨城県立里美野外活動センター
指定管理団体　一般社団法人茨城県キャンプ協会
会長　園部　高生　㊞

梅酒と酒の資料館
別春館
入館無料
〒310-0836　水戸市元吉田町327番地
Tel.029-246-4811　Fax.029-246-4812
http://www.bessyun-kan.jp

清酒副将軍醸造元
明利酒類株式会社
〒310-0836　水戸市元吉田町338番地
Tel.029-247-6111　Fax.029-247-9585
http://www.meirishurui.com

開館時間……午前9時30分～午後4時30分
休館日……月曜日（祝祭日の場合は翌日）
年末年始：12月31日～1月5日
●2～3月は無休で営業いたします。

交通ご案内…○JR水戸駅南口より/国道50号バイパス方面へ
信号4つ目左折すぐ…徒歩15分
○常磐自動車道
水戸I.Cより大洗方面…20分
○北関東自動車道
水戸南I.Cより…10分
国道50号バイパスより水戸駅南口方面へ
信号4つ目右折すぐ
●駐車場:30台・大型バス可（無料）

茨城県立里美野外活動センターをご利用いただいた１５名様に！（先着順）
◆CAMPING PLUS（１本）差し上げます！
期間：2021 年 5/1～(月曜定休)9:30-16:30
◆受取場所：明利酒類株式会社　別春館まで（日本酒・焼酎から１本お選び下さい。）
◆〒310-0836　茨城県水戸市元吉田町327　TEL 029-246-4811
◆HP　http://www.bessyun-kan.jp（地図をご参照願います。）梅酒と酒の資料館

百年梅酒　漫遊記　副将軍

お知らせ

**当センターより
１０月９日(土)
焚火カフェを
オープンします！**

**茨城のアウトドア
ショップと組み、
人気の
焚火台を用意
しました。**

**テントで寝泊り
するには
ハードルが高い
方向けの焚火と
自然散策+
レーモンド設計
の歴史的建築物
をご覧ください。**

里美野外活動センター本館
アントニン・レーモンドによるモダニズム建築

里美野外活動センター本館は、チェコ共和国出身の建築家アントニン・レーモンド氏が手掛けた貴重な建築物です。彼はフランク・ロイド・ライトの助手として帝国ホテル建設のために来日し、戦前と戦後あわせて44年間を日本で過ごしました。1972年に竣工したキャンプ場は、レーモンドが設計に関わった遺産です。自然と風土に根差した実用的で美しい建物とキャンプ場をぜひご鑑賞ください。

ご予約はこちら　0294-82-4120

指定管理団体 一般社団法人茨城県キャンプ協会　茨城県立 里美野外活動センター
〒311-0501 茨城県常陸太田市里川町863-1　http://www.satomi-camp.com/

ホームページ　茨城県キャンプ協会

『茨城県北ロングトレイル』とコラボ

- 地域文化とキャンプを通した全長**320**㎞の旅
- ６市町の里山地域,文化,環境,キャンプの融合

㈱ナムチェバザール社長　和田幾久郎プロジェクト代表